

災害時の栄養支援とJDA-DATの活動 ～栄養と歯科との連携は？～

土田直美, 管理栄養士(防災士)
(JDA-DATリーダー, 新潟県栄養士会)

- JDA-DATは、日本栄養士会が平成23(2011)年3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに、大規模自然災害発生時、迅速に、被災地での栄養・食生活支援活動を行うために「日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT: The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team)」として設立したものである。
- 主な役割は①情報収集, ②緊急栄養補給物資の支援, ③栄養補給、④対応の困難な被災者への支援などであり、スタッフの養成計画等に基づき、ガイダンス・講義・演習説明、ロールプレイ、演習、報告会等3日間で18時間、内6時間は訓練・演習研修を受講するとしている。
- 令和6年能登半島地震では新潟県から5人のリーダーが派遣され、主に①七尾を拠点に能登地区の各避難所巡回②金沢市内の1.5次避難所の栄養相談・食事提供等を行った。避難所巡回では、JDAT(歯科)、保健師チーム、JDA-DATが連携して被災住民への支援活動を行っている。



主催：日本災害時公衆衛生歯科研究会
問合せ：jsdphd-admin@umin.org

参加無料！先着90名



※記録は下記およびニュースレターにて報告します(承諾いただけただ発言部分のみ)
<http://jsdphd.umin.jp/workshop.html>

申込(先着)8月11日まで
<https://x.gd/jjPVw>